

基本目標	5	文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる
------	---	-----------------------------

1 基本目標の 2021 年度の成果評価

(1) 基本目標

① 基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か 未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価	
木下 徳康	<p>【評価】 未来ビジョン8つのうち、4つの実現するねらいは良い。コロナ禍の認識もされている。将来を見据え文化・スポーツ施設のあり方の検討の必要性の認識も妥当。</p> <p>【課題】 コロナ禍の対応。文化・スポーツ施設のあり方の検討の方法。</p>
岡田 倫英	<p>【評価】 妥当である。</p> <p>【課題】 生徒数の減少により部活動の存続が困難になった中学校が一部にある。部活動の長時間化対策や国が示す「地域移行」への対応とは別に、活動したい生徒の受け皿整備が急務になっている。</p>
関島 百合	<p>【評価】 下の「課題」と同じ。ほかは評価できる。</p> <p>【課題】 新飯田文化会館とアリーナなど、大きな箱ものプロジェクトを複数抱えている。リニア時代を迎えていくが、人口が減少していく時代にもなっていく。飯田市の負の遺産にさせない、という覚悟も必要。</p>
福澤 克憲	<p>【評価】 ねらいと取り巻く状況の認識はおおむね妥当。</p> <p>【課題】</p>
小林 真一	<p>【評価】 概ね妥当</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化・スポーツ関連施設のあり方について、トップアスリートの指導やプレーに触れる機会とどのように連携させていくか具体的に示し考えていくべき。 ・世代を超えた交流が更に必要ではないか。出来ている部分もあると感じるが、見えてこない。
佐々木 博子	<p>【評価】 概ね妥当である。</p> <p>【課題】</p>
山崎 昌伸	<p>【評価】 概ね妥当。</p> <p>【課題】 中学校の部活動のあり方について国の方針が示されたが、これへの取り組み方をしっかりと検討する必要がある。</p>

② 取り組みの内容をどう評価するか 戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価	
木下 徳康	<p>【評価】 コロナ禍において最大限取り組みをしたと思う。</p> <p>【課題】 コロナ禍により文化・スポーツの活動が制限された状況に対する対応や姿勢がはっきりしない。</p>
岡田 倫英	<p>【評価】 戦略計画との関係性は適当。またコロナ下にあって出来る限りの取り組みを進めてきたと評価する。</p> <p>【課題】 園児を重点対象にしたコーディネーショントレーニングに関して。運動神経の発達に有効とされ、当市においては長く取り組んでいるだけに、効果検証を明確にして普及に一層力を注ぐ必要がある。</p>
関島 百合	<p>【評価】 コロナの影響を考慮しつつ、事業を進めることができた。</p> <p>【課題】 今後もコロナは続きそうのため、そうした状況下でも、市民の文化的な暮らしを、スポーツも含めて停滞させない取り組み。</p>
福澤 克憲	<p>【評価】 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくるため、コロナ禍においてもできることを検討し、取り組まれていることは評価できる。</p> <p>【課題】 社会体育施設のオンライン予約システムについては、令和4年度の確実な稼働に向けて取り組まれない。</p>
小林 真一	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で出来ることを工夫して取り組んでいただいた。 ・菱田春草など節目のイベントを織り交ぜながら継続的な取り組みを実施している <p>【課題】</p>
佐々木 博子	<p>【評価】 一定の評価ができる。</p> <p>【課題】</p>
山崎 昌伸	<p>【評価】 元より文化やスポーツの振興には、人の集まりが不可欠だが、コロナ禍により活動が制限されたことで、成果を上げられなかった。</p> <p>【課題】 地域でトップアスリートが育てばそれに越した事はないが、「いいだ 未来デザイン2028」が描く地域の将来像に相応しいかどうか、改めて議論が必要ではないか。あれもこれも取り組んだ結果、本来の目的が達成できなければ、元も子もない。</p>

(2) 戦略計画

年度戦略 (小戦略)	5-①	「人形劇のまちづくり」の推進
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等		
木下 徳康	<p>【成果】 飯田人形劇フェスタ 2021 を規模縮小ながら2年ぶりに開催したこと。 オンラインを活用した人形浄瑠璃後継者団体交流会を開催したこと。</p> <p>【課題・方向性等】 コロナ禍、検査キットの有効利用検討。更なるオンラインの充実。</p>	
岡田 倫英	<p>【成果】 概ね役割を果たしている。いいだ人形劇フェスタは前年度が中止だったが、令和3年度においては感染症対策を講じて小規模ながら開催が出来た。人形浄瑠璃後継者団体交流会の参加により学生のモチベーションアップにつながった。</p> <p>【課題・方向性等】 「市民が年間を通じて人形劇を観劇したり、体験で楽しめたりする機会の提供」に関しては課題認識・今後の方向性が記載されていない。感染症対策が一段落するのを待ってからということか。</p>	
関島 百合	<p>【成果】 コロナが収まらない中で、できることを実施できた。</p> <p>【課題・方向性等】 竹田人形館や川本美術館でのイベントが打ちづらい中ではあるが、コンサートなどを実施して、市民が足を運ぶ人形施設の活用も必要。</p>	
福澤 克憲	<p>【成果】 県内居住者に限定した、いいだ人形劇フェスタの開催、人形浄瑠璃後継者団体交流会をオンラインで開催するなど、コロナ禍においてもできることを検討し、推進したことは評価できる。</p> <p>【課題・方向性等】 学校・保育園等で行われる人形劇活動や市民が演じることを楽しむ創造活動など、コロナ禍においても通常の取り組みとしてできることを更に推進していくことも大切。また補足指標の人形劇フェスタ参加証の販売数をみると、4,062 となっており、規模を縮小しての開催となったものの、参加証ワッペンの意義を改めて周知する必要性を感じる。</p>	
小林 真一	<p>【成果】 コロナ禍で出来る事を考えながら実施して頂いた（実施の可否や、施節の利用など）</p> <p>【課題・方向性等】 評価シート(1-1. 1-2)の記載の通りで良い</p>	
佐々木 博子	<p>【成果】 概ね役割を果たしたと評価する。「やめる」一択ではなく、やれることを模索し工夫しながら様々なイベントを実施したこと。</p> <p>【課題・方向性等】 開催する側としては「小規模にしてでもやりたい(つなげてきたい)」のが心情だが、市民感情としては「感染拡大が怖いからやめて欲しい」という声もある。そのバランス調整が難しいと思われる。</p>	

山崎 昌伸	<p>【成果】 コロナ禍であったが、人形劇フェスタを県内の方に限定して開催した。2つの中学校が人形浄瑠璃後継者団体交流会に参加し、お互いを知り今後のモチベーションアップに繋がった。</p> <p>【課題・方向性等】 「人形劇のまちづくり」としては、どうしてもフェスタに全力を注ぐようになりがちだが、コロナ禍が今後も続くとなれば、日常で竹田・川本の活用にもっと力を入れていく必要があるのではないか。</p>
-------	--

年度戦略 (小戦略)	5-②	文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等		
木下 徳康	<p>【成果】 菱田春草展開催。</p> <p>【課題・方向性等】 感染対応として無観客・映像配信による実施の検討。</p>	
岡田 倫英	<p>【成果】 概ね役割を果たしている。舞台芸術はコロナ下の困難な状況下にあってできる限りの取り組みがされた。美術鑑賞は菱田春草没後 110 年記念展が盛況だった。</p> <p>【課題・方向性等】 舞台芸術は引き続き、感染症対策との兼ね合いを見る中でできる限りの取り組みが必要。美術鑑賞において菱田春草は記念年だけではなく日常的に触れられる機会の充実は大事だ。加えて、舞台芸術・美術鑑賞ともに観光誘客(交流人口創出)の考え方を加味できるのではないか。</p>	
関島 百合	<p>【成果】 ・コロナが収まらない中で、できることを実施できた。 ・学校で春草を学ぶ機会を設けるなど、市民が春草に触れる機会を設けることができた。</p> <p>【課題・方向性等】 妥当と考える。「春草マンスリー・ウイーク」の実現に期待する。</p>	
福澤 克憲	<p>【成果】 「菱田春草」没後 110 年を記念した作品展示に、多くの観覧者が訪れていただけたこと。また小中学生の事前・鑑賞・事後学習を行い、春草を学ぶ機会を設けたことは評価できる。</p> <p>【課題・方向性等】 取り組みの課題に記述のとおり、記念年のみならず、日常的に菱田春草をはじめとする地域ゆかりの芸術に触れられる機会を設けることにより、飯田の芸術文化に親しみをもってもらえるような事業展開に期待する。</p>	
小林 真一	<p>【成果】 概ね役割を果たした</p> <p>【課題・方向性等】 菱田春草没後 110 年の記念年だけでなく芸術文化に継続的に取り組む必要がある</p>	

佐々木 博子	<p>【成果】 概ね役割を果たしたと評価する。</p> <p>【課題・方向性等】 アフターコロナは訪れないかもしれない未来において、「リアル」「ホンモノ」に触れることができないウィズコロナでの文化芸術活動のあり方や新しい可能性を引き続き模索検討していかれることを期待します。</p>
山崎 昌伸	<p>【成果】 春草没後 110 年の展覧会が、地区外からも多くの観覧者が訪れて盛会に開催できた。</p> <p>【課題・方向性等】 評価シートに記載の「取組の課題」「今後の方向性」について、着実な実行が求められる。</p>

年度戦略 (小戦略)	5-③	新たな文化芸術活動の拠点づくり
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等		
木下 徳康	<p>【成果】 令和 4 年度から整備始動に向けて「新文化会館の建設に向けた事業プロセス」を策定したこと。</p> <p>【課題・方向性等】 現時点での発想で適切な新文化会館の建設となるか。開館するおよそ 10 年後までの技術の進歩、インフラ整備状況の変化の情報収集、検討チェックする部門が必要ではないか。</p>	
岡田 倫英	<p>【成果】 新文化会館整備の具体的な検討に入っていく準備段階という観点から、役割を果たしたと言える。</p> <p>【課題・方向性等】 具体的な取り組みが動き出したばかりであり、課題認識・今後の方向性は記載の通りで妥当。</p>	
関島 百合	<p>【成果】 市民検討委員会や市民ワークショップの立ち上げ、アンケートの実施などが図られた。</p> <p>【課題・方向性等】 「十分な駐車場を確保できることを前提条件にして」という方向性からは、中心市街地を「文化の集積地」とした市の方針との整合性が見えてこない。現在の文化会館は、一帯のホテルや飲食店などと、独自の環境を築いて現在がある。これらは、一朝一夕では成しえない。こうした「文化」への視点が感じられない。</p>	
福澤 克憲	<p>【成果】 新文化会館の建設は、飯田市のみならず、飯田下伊那地域（南信地域）の文化芸術活動の拠点施設として大変重要な位置づけとなる。市民の皆さんの声をしっかりと聴きながら、計画を進められたい。</p>	
小林 真一	<p>【成果】 新文化会館建設前から WS の立ち上げが出来ている</p> <p>【課題・方向性等】 様々な意見、考え方、今後の世の中の変化(コロナなど)を踏まえた検討が引き続き必要(合意や調整はかなりの労力が必要になると思われる)</p>	

佐々木 博子	<p>【成果】 概ね役割を果たしたと評価する。市民検討委員会や市民ワークショップの立ち上げなど。</p> <p>【課題・方向性等】 「十分な駐車場を確保できる」という前提条件は、(先入観によって)「今ある文化芸術活動のさらなる活発化やジャンルミックスの場」とする新たな拠点としての適地選択に否定的な影響を及ぼさないか。</p>
山崎 昌伸	<p>【成果】 新文化会館の建設に向けて、構想・計画づくりに市民参加の仕組みができたこと。</p> <p>【課題・方向性等】 構想・計画の進捗状況を逐一市民に公開し、市民の声が市民検討委員会や市民ワークショップに確実に反映される仕組みづくりが求められる。</p>

年度戦略 (小戦略)	5-④	市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催
<p>戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等</p>		
木下 徳康	<p>【成果】 【課題・方向性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングはコロナ禍において有用な運動であり、クワオルトウォーキング、ポールウォーキングを検討されたい。 ・コーディネーショントレーニングの効果を検証できるように検討することだが、飯田市の検証方法の確立をしてもらいたい。 	
岡田 倫英	<p>【成果】 コロナ下だったことを勘案し、概ね役割を果たしたと言える。</p> <p>【課題・方向性等】 スポーツの内容は幅が広いが、ウォーキングや体操など負荷の軽いものは健康づくりの観点も絡めて展開することが必要。</p>	
関島 百合	<p>【成果】 コロナの制約がある中で、工夫してスポーツ事業が実施できた。</p> <p>【課題・方向性等】 妥当と考える。</p>	
福澤 克憲	<p>【成果】 スポーツ推進委員と公民館などが連携し、ニュースポーツフェスティバルを開催し、ニュースポーツの普及に努めていること。保育園や小学校でコーディネーショントレーニングなどに取り組んだことは評価できる。</p> <p>【課題・方向性等】 今後の方向性として、誰もができるウォーキングや「ボッチャ」の普及をめざすと記述があるが、運動習慣の定着を考えた時、各地区のウォーキングコースの活用や、これまで取り組んできたペタンクや囲碁ボール、キンボールなどのニュースポーツも視野に入れた広い展開も考えていくことが大切。</p>	
小林 真一	<p>【成果】 コーディネーショントレーニングについて子どもを育むことにつながると考えられる変化や成長が報告された点を評価する</p> <p>【課題・方向性等】 上記の反面、コーディネーショントレーニングの検証が引き続き必要</p>	

佐々木 博子	<p>【成果】 概ね役割を果たしたと評価する。コロナ禍で活動制限が続く中での工夫ある取り組みと実施。</p> <p>【課題・方向性等】 民間のスポーツクラブも顧客獲得のために、色々な知恵を絞ってイベントを開催している。民の顧客獲得と官の「市民のスポーツ機会を増やす」というそれぞれの目的に類似点があるのであれば、基本目標5-⑤同様に、市内にある民間のスポーツクラブと官民連携の新しい取り組みはできないか。</p>
山崎 昌伸	<p>【成果】 飯田やまびこマーチ、風越登山マラソン等の実施について、コロナ禍での工夫がみられた。</p> <p>【課題・方向性等】 大会は別として、日常のウォーキングについては、健康づくりの観点が多いと思われる。関連する他部署との連携が必要。</p>

年度戦略 (小戦略)	5-⑤	競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等		
木下 徳康	<p>【成果】 なし</p> <p>【課題・方向性等】 スポーツ協会や競技団体による選手や指導者の育成を支援するという点でいいと思う。</p>	
岡田 倫英	<p>【成果】 コロナ下なりにスポーツ教室や大会の開催数、参加者数が増えており概ね役割を果たしている。</p> <p>【課題・方向性等】 指導者の育成が課題であるのは同じ認識。競技種目によっては選手OBがコーチとなって育成者の層を厚くしている好事例があるので、横展開につなげられないか研究が必要。また「大会等にボランティアとして参加」の数値が低い、保護者としての関わりを加味した問いにすればもう少し高い数値結果が出るのではないか。</p>	
関島 百合	<p>【成果】 コロナの制約がある中で、スポーツイベントや大会が実施できた。</p> <p>【課題・方向性等】 競技人口の減少は、課題となっている指導者の確保育成にもつながる。このため、選手や指導者の育成事業の支援のほかに、競技人口が減少している要因を分析して、実態を把握することも必要。</p>	
福澤 克憲	<p>【成果】</p> <p>【課題・方向性等】 コロナ禍においての大会や教室の開催手法等の周知。基礎世論調査結果等の数値（指導者としてスポーツ活動にかかわっている人の割合）の比較だけでなく、都会と地方の指導環境の比較、体育施設の環境比較など、飯田市の現状分析が必要。</p>	
小林 真一	<p>【成果】 コロナ禍でできる事に取り組んでいただいた</p> <p>【課題・方向性等】 アンケート結果から「競技場等に出かけて、スポーツを観戦している」3.7%地元でプロスポーツを身近に感じられる方策が必要</p>	

佐々木 博子	<p>【成果】 概ね役割を果たしたと評価する。</p> <p>【課題・方向性等】 まちづくりに生涯スポーツが必要な理由は理解できる。しかし競技スポーツ人口拡大がまちづくりになぜ必要なのか。トップアスリートとの交流の効果・重要性は非常に同意するが、競技スポーツ人口を増やさなくてもそういう機会はつくれる。いっそのこと「シビックプライドを高めます」「経済効果があります」と言われた方がしっくりくる。</p>
山崎 昌伸	<p>【成果】</p> <p>【課題・方向性等】 成人してから新たに競技スポーツを行う人はどの程度いるのか、この小戦略では拡大しようとする競技スポーツ人口の対象が見えない。成果を上げるには、小中高校生への取り組みが必要ではないか。年度戦略に優先順位をつけるとすれば、5-④、5-⑥に注力すべき。</p>

年度戦略 (小戦略)	5-⑥	中学生期の多様なスポーツ環境の充実
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等		
木下 徳康	<p>【成果】 冬季ジブン・チャレンジ、筑波大学アスレチック部門のオンライン授業はコロナ禍においては果たしていると思う。</p> <p>【課題・方向性等】 全市型スポーツスクールと部活動の地域移行との進め方。</p>	
岡田 倫英	<p>【成果】 全市型競技別スポーツスクールは取り組みが始まったばかりの段階だと加味すれば概ね役割を果たしている。</p> <p>【課題・方向性等】 全市型競技別スポーツスクールは費用負担、通いやすさを勘案した体制の充実が求められる。国の方針を示す地域移行への対応は受け皿の整備がより難しくなると考えられ、関係者との丁寧な協議・調整が必要になる。</p>	
関島 百合	<p>【成果】 これまでの当たり前とは異なることを、国の方針に従い取り組むことができた。</p> <p>【課題・方向性等】 ・見直しと今後について、保護者の間で混乱がある。ましてや、一般市民の理解はそれに追いつかない。今後の分かりやすい説明が必要。 ・「地域において適切な指導のもと多様な種目を体験できるスポーツ環境の整備が求められる」とあるが、それが可能な地域とそうでない地域とで格差が生じないか。「多様な種目」を地域に求めているが、地域にそれだけの余力があるのか。行政の支援が必要になるのでは。地域に過度な負担がないようにしなければ続かない。 ・中学の部活を地域移行した後の、行政の関わり方を明確にする必要がある。</p>	
福澤 克憲	<p>【成果】</p> <p>【課題・方向性等】 中学生期の部活動のあり方の考え方として、当時示された部活動の時間、飯田市平均665時間を減らしていくことが目的と認識している。取り組みの成果として、活動時間が年間平均410~430時間程度に改善されていると記述があるが、どこまでを目標としているのか方向性が見えない。</p>	

小林 真一	<p>【成果】 体験型スクールの実施と、スポーツの楽しさを知る機会が増加した点を評価する</p> <p>【課題・方向性等】 全市型スポーツスクールについては様々な課題がある、保護者、地域への理解と連携が引き続き必要</p>
佐々木 博子	<p>【成果】 概ね役割を果たしたと評価する。社会体育指導者の意識の共有など。</p> <p>【課題・方向性等】 スポーツ版「詰め込み教育」から「ゆとり教育」への移行という印象。少年スポーツにおける(大人側の)過剰な成果(勝利)主義の弊害からこのような取り組みが始まったと推測される。まずは「楽しむ」「スポーツを通じた人格教育」に対する誤解を解く意識改革に期待します。</p>
山崎 昌伸	<p>【成果】 保護者の声などを勘案すると、全体として成果はまだ見えていない。筑波大学アスレチックデパートメントとの連携協定の締結は評価できる。</p> <p>【課題・方向性等】 部活動の地域への移行という国の方針にどう対応するか。一番の課題は、指導者の確保にあると考える。</p>

年度戦略 (小戦略)	5-⑦	スポーツ施設の整備、サービス向上
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか 基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等		
木下 徳康	<p>【成果】 トイレ洋式化、川路多目的広場Aコートでの試験的芝生植栽を検討、決定したこと。</p> <p>【課題・方向性等】 市民のスポーツ施設の利用が安全で快適であるよう計画的に進める。</p>	
岡田 倫英	<p>【成果】 施設等総合管理計画に基づく改修等が進み、川路多目的広場Aコートへの芝生植栽も具体化に至ったことから役割を果たしている。</p> <p>【課題・方向性等】 計画的な改修を進めると同時に、財源確保についても自治体クラウドファンディングなど方策の検討が必要。</p>	
関島 百合	<p>【成果】 限られた予算の中で、市民のための取り組みができた。</p> <p>【課題・方向性等】 おおむね妥当。</p>	
福澤 克憲	<p>【成果】 【課題・方向性等】 取り組みの課題として、芝生化については、芝の種類(人工芝・天然芝)による整備費や維持管理コストの検証など、検討する必要があると記述があるが、いつまでに検討を行うのか。日本サッカー協会ポット苗方式芝生化モデル事業を計画するにあたり、飯田サッカー協会が維持管理を行うとあるが、検証ができていない状況で今後の方向性をどのように考えているのか。</p>	
小林 真一	<p>【成果】 概ね成果を果たしている</p> <p>【課題・方向性等】 評価シート記載の通りで良い</p>	

佐々木 博子	<p>【成果】 概ね役割を果たしたと評価する。トイレの環境整備は重要。</p> <p>【課題・方向性等】 何事も施設ありきではないが、優れた施設があることで練習機会も増え強豪校になるというロジックは現実にあるし、生涯スポーツを楽しめる場としても環境整備は重要。</p>
山崎 昌伸	<p>【成果】 グラウンドの芝生化、会場のオンライン予約システムに向けて動き出した点やトイレの洋式化は評価できる。</p> <p>【課題・方向性等】 各競技団体から施設改善の要望が出されているものと思うが、改善の見通しなどは示されているのかどうか。</p>

(3) 実績を踏まえた事業確認

2022 年度戦略の方向性・妥当性、社会的環境変化への適応状況等を反映しているか 現状確認と今後に向けた課題・方向性等	
木下 徳康	コロナ禍においては大会開催、事業展開をしていると思うが、ウィズコロナの状態に適応しきれてはいない。効率よく基本目標5を達成する必要がある。
岡田 倫英	反映していると言える。
関島 百合	おおむね妥当。反映している。
福澤 克憲	おおむね反映している。
小林 真一	概ね良い
佐々木 博子	反映していると考える。
山崎 昌伸	「いいだ未来デザイン2028」の中期で新たにできた基本目標で、実質的な評価は今回が初めてとなる。その為、この項における現段階での評価は難しいが、概ね反映しているのではないかと。

(4) 進捗状況確認指標

進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か 達成度を成果指標等により 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
木下 徳康	特になし。
岡田 倫英	概ね妥当。「スポーツ大会等にボランティアとして参加」の数値が低いですが、保護者としての関わりを加味した問いにすればもう少し高い数値結果が出るのではないかと。※小戦略5-⑤の再掲

関島 百合	おおむね妥当。
福澤 克憲	中学生期の部活動のあり方の当初の目的を継続するのであれば、進捗状況確認指標として、部活動の時間・目標値（参考：当初 665 時間、R3 年度 410～430 時間とのことだが）が必要。
小林 真一	概ね妥当
佐々木 博子	妥当であると考えている。
山崎 昌伸	コロナ禍は当分収まりそうになく、令和6年の目標を掲げそれとの対比をしてみても、あまり意味がない。当面は、翌年度の目標設定をして、それに対する結果で評価するしかないのではないかと。